

**2016年秋～2017年夏アニメ 200タイトル超の視聴者分析を一挙掲載！**

## 『アニメマーケティング白書 2018』発売

株式会社Gzブレイン(本社:東京都中央区、代表取締役社長:浜村弘一)は、2016年秋～2017年夏放送のアニメ番組 200タイトル超の視聴者に関する調査結果・分析をまとめた『アニメマーケティング白書 2018』を12月14日に発売します。

本書では、弊社が運営するユーザーリサーチシステム「eb-i」を用いて、全国47都道府県在住の男女5～69歳を対象に、アニメ視聴に関する調査を実施しました。2016年秋～2017年夏に放送されたアニメ番組について、男女・年齢別の視聴者数分布などの基礎データをはじめ、視聴形態別(リアルタイム・録画・オンデマンド)の視聴者数、視聴者の他エンタメジャンルへの接触状況や生活意識・消費選好といった豊富な資料を多数掲載。各タイトルにおける視聴者の属性や特徴を詳しく分析しています。アニメビジネスに携わる方に向けた、今後の業界動向を様々な角度から読み解くための一冊となっています。

### ●アニメ視聴本数が多い人ほど、エンタメコンテンツへの消費傾向が高い結果に。

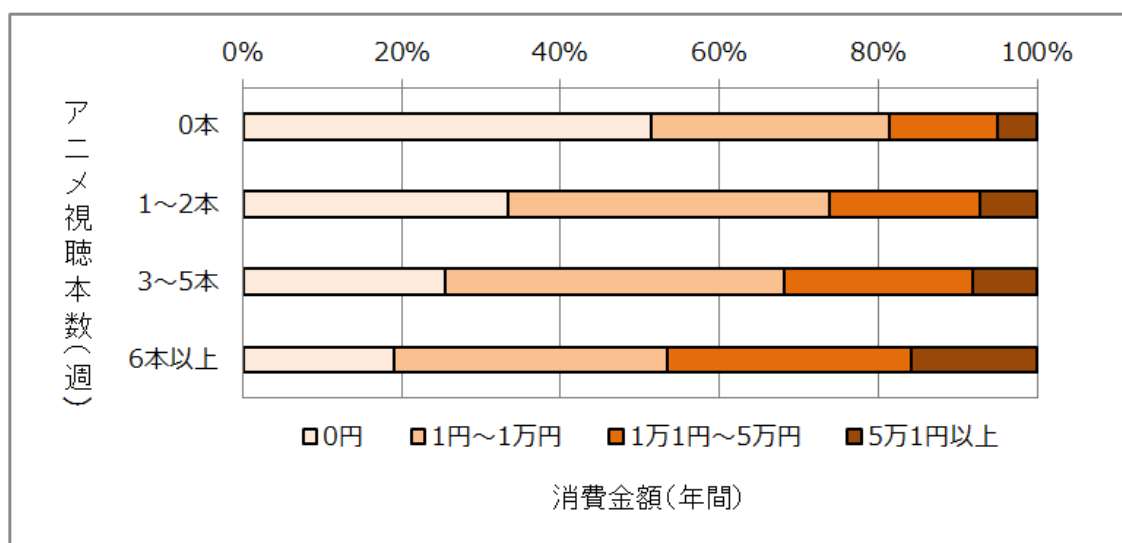
過去1年間でアニメ・漫画・映画・小説・ゲームなどに費やした金額を聴取し、アニメ視聴者および非視聴者における、エンターテインメント関連コンテンツへの消費実態について調査しました。

アニメを週に1本も視聴しない人の約半数(51.5%)が、“過去1年間でエンタメコンテンツに1円も消費しなかった”と回答。一方、アニメを週に6本以上視聴する人では、約8割(81.1%)にエンタメコンテンツへの消費活動が見られました。さらに、エンタメコンテンツに年間5万円を超える消費をした人は、週1～2本のアニメ視聴者で7.2%、週6本以上の視聴者では15.8%と、2倍以上の差がありました。

調査の結果、アニメを多く視聴する人ほど、エンタメコンテンツに出費する習慣があるだけでなく、高額な消費をする傾向があることが分かりました。

なお、年間5万円を超えて消費した人の約7割(73.8%)が20代～40代という年齢構成となり、アニメ視聴者のメイン層でもある20代～40代が、エンタメコンテンツの消費においても主要なターゲットとも言えます。

### 【アニメ視聴本数クラス別 エンタメコンテンツ消費金額分布】



(集計期間:2017年8月28日～9月3日/出典:アニメマーケティング白書 2018)

## ●視聴者数だけでは測れない新たな指標として、満足度調査を実施！

『アニメマーケティング白書 2018』では、今回新たに視聴者数だけでは測れないアニメの満足度について5段階評価でアンケート調査を実施し、最も高い“非常に満足した”と回答した人数から満足度比率を割り出しました。

話題作の多かった昨年秋(2016年10～12月)に放送されたアニメでは、視聴者数の約半数(45.0%)が“非常に満足した”と回答した「ハイキュー!!烏野高校 VS 白鳥沢学園高校」が満足度1位を獲得。2位の「夏目友人帳 伍」、3位の「ユーリ!!! on ICE」がそれぞれ僅差で続き、高評価の作品が並びました。

### 【2016年秋アニメ 満足度ランキング TOP5】

満足度 TOP5		
順位	タイトル	満足度比率
1位	ハイキュー!!烏野高校 VS 白鳥沢学園高校	45.0%
2位	夏目友人帳 伍	42.9%
3位	ユーリ!!! on ICE	42.4%
4位	斉木楠雄のΨ難	39.8%
5位	響け！ユーフォニアム 2	35.8%

(調査実施日:2017年4月10日/出典:アニメマーケティング白書 2018)

さらに、同じく2016年の秋アニメについて、男女別の満足度調査も実施しました。

男性人気1位の「タイガーマスクW」は、“非常に満足した”と回答した視聴者の約9割が男性で、2位の「ろんぐらいだあす！」とともに、特に40代からの支持が高くなっています。

ゲームでも女性ファンの多い「刀剣乱舞-花丸-」は、“非常に満足した”と答えた視聴者の約8割が女性となり、女性人気トップに。また、女性満足度の上位3タイトルを見ると、「刀剣乱舞-花丸-」と「文豪ストレイドッグス」は10代～20代、「ユーリ!!! on ICE」は20代～30代が主な支持層となり、いずれも20代女性を中心に高評価を得ていることが分かりました。

### 【2016年秋アニメ 男女別満足度比率ランキング TOP5】

満足度 TOP5<男性>			満足度 TOP5<女性>		
順位	タイトル	比率	順位	タイトル	比率
1位	タイガーマスクW	87.8%	1位	刀剣乱舞-花丸-	82.8%
2位	ろんぐらいだあす！	86.4%	2位	ユーリ!!! on ICE	78.2%
3位	競女!!!!!!	86.3%	3位	文豪ストレイドッグス	71.5%
4位	ブレイブウィッチーズ	84.1%	4位	私がモテてどうすんだ	66.9%
5位	ステラのまほう	83.3%	5位	ちびまる子ちゃん	63.7%

(調査実施日:2017年4月10日/出典:アニメマーケティング白書 2018)

#### <調査概要>

『アニメマーケティング白書 2018』のデータは、株式会社Gzブレインが週単位で継続して行っている、エンターテインメント分野の消費動向調査「eb-i(Entertainment Business Insight)」の結果を用いています。保有する国内25万人パネルから、全国47都道府県の5～69歳(14歳以下は保護者の代理回答)の男女1万人超のモニターを対象にWeb調査を実施。

URL: <http://www.f-ism.net/>

※本リリースのデータを記事にて引用される場合は、必ず出典をご明記いただきますようお願いいたします※

## ◆『アニメ マーケティング白書 2018 消費ポテンシャルとペルソナから測る IP 分析』概要

発行：株式会社 Gzブレイン マーケティングセクション

発売日：2017 年 12 月 14 日

価格：32,000 円＋税

総頁数：PDF (CD-ROM) 1393 頁

紹介ページ：

[http://www.f-ism.net/report/anime\\_mkt\\_2018.html](http://www.f-ism.net/report/anime_mkt_2018.html)

### <目次>

- I. 本書について
- II. 報告対象タイトル一覧
- III. 日本におけるアニメ視聴の概況
- IV. アニメ視聴者 プロファイル
- V. 個別タイトル分析
- VI. キッズレポート
- VII. ランキング
- VIII. eb-i について



『アニメマーケティング白書 2018』は、オンラインショッピングサイト「ebten」で購入いただけます。

ebten 内購入ページ：<http://ebten.jp/p/7015017121451/>

### <関連ページ>

- 「アニメマーケティング白書 2018」サポートサイト  
<https://www.f-ism.net/ebi/mreport/r00000000032/>
- 「アニメマーケティング白書 2018」掲載タイトル一覧  
<https://www.f-ism.net/ebi/mreport/r00000000044/>
- 「アニメマーケティング白書 2017」(昨年分) サンプル PDF  
[https://www.f-ism.net/report/image/animemkt2017\\_sample.pdf](https://www.f-ism.net/report/image/animemkt2017_sample.pdf)

### ◆株式会社 Gzブレイン (ジーズブレイン) について



株式会社 Gzブレイン (代表取締役社長：浜村 弘一) は 2017 年 7 月 3 日、カドカワ株式会社の 100% 子会社として設立。『ファミ通』や『B's-LOG』ブランドをはじめとする、様々なゲームメディア・サービスの企画・制作・編集・運営を行っています。情報誌や書籍の出版だけでなく、Web メディアやイベントの企画・運営、ゲーム動画・映像配信やコンテンツ制作、ゲームマーケティング事業など、あらゆる角度からゲームの面白さを伝える事業を展開しています。

公式サイト URL：<http://gzbrain.jp>